

藤枝市の家計と財産の概要

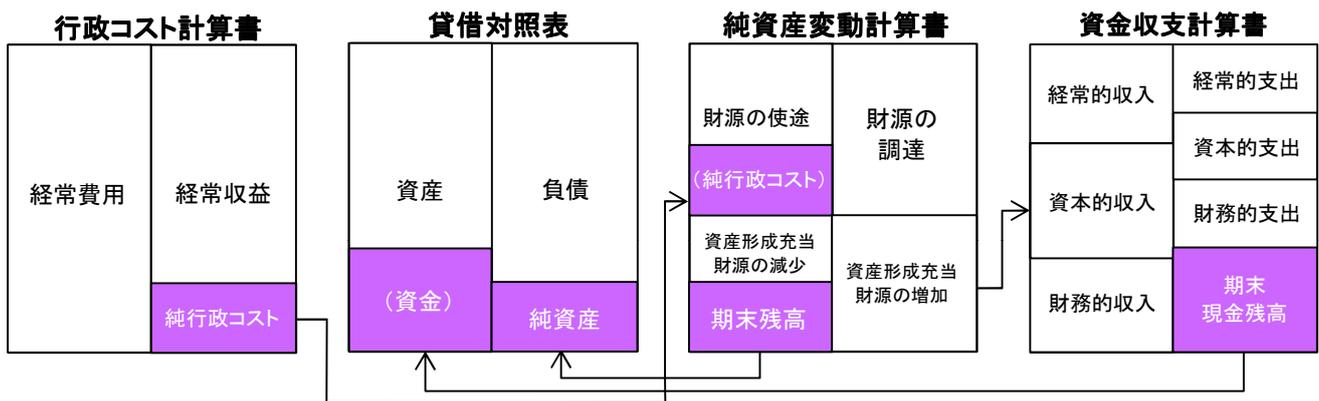
～公会計制度にみる藤枝市の平成25年度決算（簡易版）～

藤枝市では、公会計制度に基づき平成25年度決算における財務諸表を作成しました。これにより、藤枝市の資産状況や現金の流れなどの経営状況を知ることができます。また、財務諸表は民間企業でも作成しているため、民間企業との比較も可能になります。

4つの財務諸表って何？

「行政コスト計算書」、「貸借対照表」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」のことをいいます。民間の会社でも、それぞれ「損益計算書」、「貸借対照表」、「株主資本等変動計算書」、「キャッシュ・フロー計算書」を作成しているので、民間と同じような4つの表を作成することにより、民間との比較が容易になるといわれています。

4つの財務諸表の関係は？



対象となる会計は？

連結会計

単体会計

普通会計
一般会計・土地取得特別会計

【特別会計】
国民健康保険事業、簡易水道事業、公共下水道事業、
駐車場事業、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療

【企業会計】
水道事業、病院事業

【その他の団体】
藤枝市土地開発公社、(株)まちづくり藤枝、志太広域事務組合 等

次のページからは、
主に**単体会計**について
説明するよ



ふるさと納税キャラクター ふーじー君

行政コスト計算書

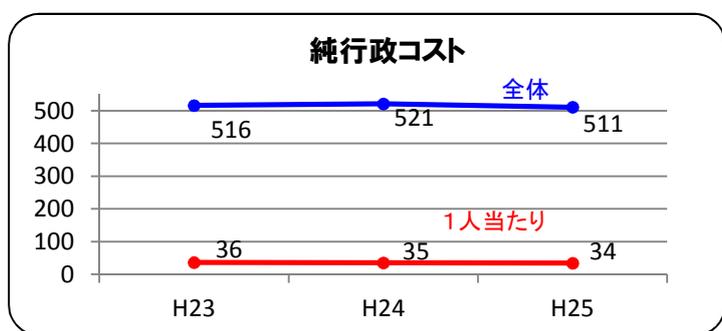
市が行う様々な事業によってかかった「費用」と、使用料や手数料などの「収入」を表します。

(単位: 億円)

科目	H23	H24	H25	H25-H24
経常費用	682	689	689	0
経常収益	166	168	178	10
純行政コスト (1人当たり、万円)	516 (36)	521 (35)	511 (34)	△10 (△1)

平成25年度の経常費用は前年度と同じ推移となりましたが、病院事業の黒字化などにより、経常収益が増えたため、前年度と比べて

純行政コストが10億円減少しました。



<用語説明①> 経常費用

1年間に提供された行政サービスに要したすべての費用

1. 人にかかるコスト (議員報酬、給与等)
2. 物にかかるコスト (施設維持管理費、備品購入等)
3. 移転支的なコスト (こども手当や団体への補助金等)

<用語説明②> 経常収益

行政サービスの利用で市民が負担する使用料・手数料

※市税は除く

<用語説明③> 純行政コスト

経常費用から経常収益を引いた純粋な行政コスト

貸借対照表

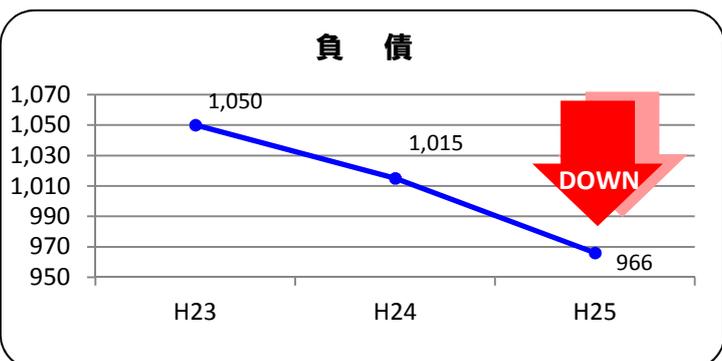
年度末の資産や負債、純資産を表します。

(単位: 億円)

科目	H23	H24	H25	H25-H24
資産	3,901	3,854	3,825	△29
負債	1,050	1,015	966	△49
純資産	2,851	2,839	2,859	20

平成25年度も借金の返済が進んでいることで、**負債が確実に減ってきています。**

平成23年度と比べると**84億円もの負債が減っている**ことがわかります。



<用語説明④> 純資産

これまでの世代が負担してくれたため、将来返済義務のない純粋な資産

負債が
どんどん
減っていくね！



純資産変動計算書

1年間に純資産がどのように増減したかを表します。

(単位:億円)

科目	H23	H24	H25	H25-H24
I 財源変動の部	9	39	38	△1
II 資産形成充当財源変動の部	38	14	38	24
III その他の純資産変動の部	△65	△65	△56	9
当期変動額合 (I + II + III)	△18	△12	20	32
前期末純資産残高	2,869	2,851	2,839	△12
当期末純資産残高	2,851	2,839	2,859	20

平成25年度の純資産残高は、前年度のような固定資産の評価替がなく、金融資産の増加等により**20億円の増加**となりました。

<用語説明⑤> 財源変動の部

財源をどこから(税収や国・県補助金など)調達し、どのように使われた(行政コストや出資金等)かをあらすもの

<用語説明⑥> 資産形成充当財源変動の部

将来の世代も利用することができる資産に対して、どの程度財源が使われたかをあらすもの

当期末純資産残高



資金収支計算書

1年間の資金の動きを表したもので、どのような活動に資金を使ったかを表します。

(単位:億円)

科目	H23	H24	H25	H25-H24
I 経常的収支	94	98	111	13
II 資本的収支	△49	△32	△57	△25
基礎的財政収支 (I + II)	45	66	54	△12
III 財務的収支	△54	△59	△54	5
当期資金収支 (I + II + III)	△9	7	0	△7
期首資金残高	44	35	42	7
期末資金残高	35	42	42	0

平成25年度の基礎的財政収支は**プラス54億円**となりました。

これは、行政サービスに係る費用を新たな借金をせず、毎年の税収等で賄っていることを表しています。

<用語説明⑦> 経常的収支

市税や国県からの収入と、行政サービスに係る支出との差額

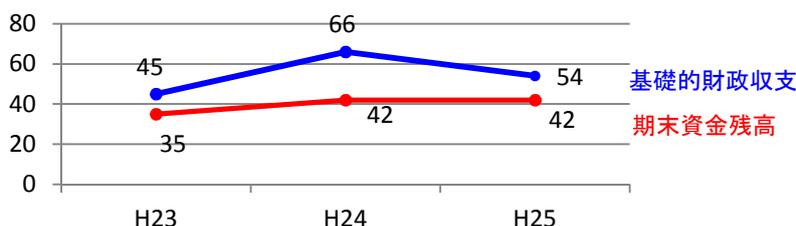
<用語説明⑧> 資本的収支

固定資産等の売却や、貸付金償還によって得た収入と、固定資産等の購入や貸付金への支出との差額

<用語説明⑨> 財務的収支

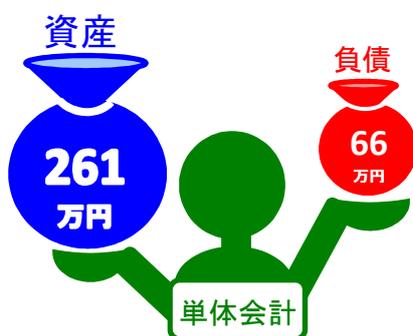
新たな借入れによる収入と、借金の元金・利息の返済のために必要な支出との差額

基礎的財政収支・期末資金残高

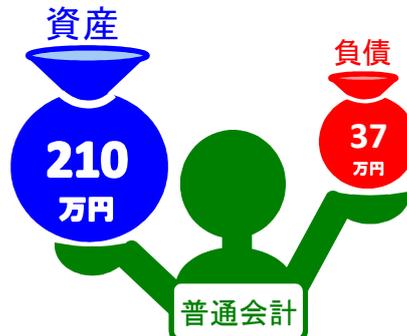


4つの財務諸表からわかること

●市民一人当たりの資産と負債（平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口 146,459人）



※H24年度 資産264万円 負債69万円



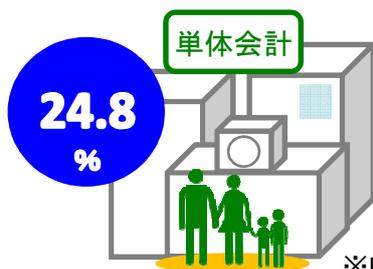
※H24年度 資産212万円 負債40万円

負債はありますが、その4倍以上の資産を保有しているため、健全性は十分確保されています。

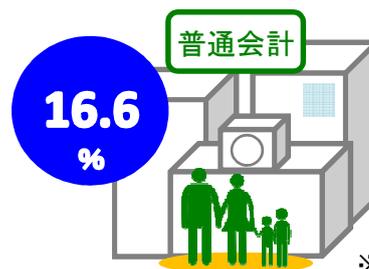
●将来の世代への負担

社会資本等形成の世代間負担比率※で、将来の世代が負担する割合がわかります。比率が低ければ低いほど、将来の世代への負担が少ないことになります。

※道路・河川・学校などの整備を、将来返済する必要がある借金によってまかなっている割合



※H24年度 25.4%



※H24年度 17.1%

平均値は、15～40%といわれていますので、藤枝市の財政状態は適正な水準にあります。

まとめ

過去2年間の各財務諸表を比較してみても、負債は順調に減少しており、純資産も増加していることから、藤枝市の財政は**バランスのよい健全な財政運営**を保っていることがわかります。



ふむふむ。
藤枝市の財政状態は
健全で安心なんだね。

藤枝市役所 企画財政部財政課
〒426-8722
静岡県藤枝市岡出山1-11-1
電話：054-643-3234 FAX：054-643-3604
E-mail：zaisei@city.fujieda.shizuoka.jp

公会計についてもっと詳しく知りたい方は詳細版の資料もありますので、是非ご覧下さい。
【藤枝市ホームページ】<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp> 「藤枝市の財政」ー 公会計